

ふれあい

治田小 学校だより

2023年9月1日

栗東市立治田小学校

NO.12

より成長できる機会を

40日余りの長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。

子どもたちの表情を見ていますと、夏休み前とくらべて「少し成長した」ように感じられます。きっと、夏休みにいろいろな経験をしたり、お家の方や地域の方々と触れ合ったりする中で、多くの成長をしてくれたのだなと感じています。

夏休みには、大きなケガや事故の報告もなく、保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、子どもたちが無事に過ごせたことに感謝いたします。ありがとうございました。

9月からは、運動会や校外学習等、大きな行事が予定されています。教室での学習はもちろんですが、子どもたちは行事を通して大きく成長していけると考えています。実際、4月以降、各学年の子どもたちの様子を見ていまして、音楽会やプールでの学習等を通して、大きく成長した姿が見られました。

ただし、「以前から、このやり方で行ってきたから。」等の理由で、これまでと同様に行事を行っていくことに無理がある時代になってきているのかもしれない。運動会を例にとりますと、「運動が好きではないから。」や「団体で行動することが苦手だから。」等の理由で、すべての子どもが運動会を楽しみにしているわけではないかもしれません。そのことを理解した上で、私たち教職員は、行事の内容ややり方等を考えていく必要があると考えています。

ここ数年は、コロナウイルス感染拡大により、子どもたちの生活や学校行事も大きく変わらざるを得ない状況が続いてきました。「良いもの」は残しつつ、「今の子どもたちが成長できるより良い取り組みは何なのか」を考え、今後の取り組みを検討していきたいと思っています。

今後も、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

《夏休みを終えて・・・》

夏休み前の最終日に、全校の子どもたちに話をする中で、私から宿題を出しました。それは、「1つでもいいから、『これに取り組むということを決めて、やりきってほしい。』ということ」です。そして、「校長先生は、本を10冊読もうと考えています。」と話しました。その結果を今日の「夏休み明け集会」で話しましたので、お家でもお子さんに聞いてみてください。

校長 田中 覚